

絵本「バスのしゃこにしてみよう！」の作成について

尼崎交通事業振興株式会社（本社：尼崎市東塚口町 代表取締役：有川康裕）は、絵本「バスのしゃこにしてみよう！」を作成しました。この絵本は、5歳までの子どもとその保護者を対象読者とし、バスの車内や車庫で行われる作業の様子を猫のキャラクター「いちごちゃん」たちをとおして疑似体験することができます。また、絵本の後半では、保護者と一緒に車内事故防止のルールや簡単な交通安全ルールを知ったり、考えたりすることができます。

「安全、安心を守ること それは未来を守ること」

子どもたちが「バス」に親しみや関心を持ち、また、交通ルールが自然に身につき、事故防止のための一助となりますよう、作成した絵本は、市内の幼稚園や保育所に進呈する予定です。



1 内容紹介

尼崎交通事業振興株式会社が、未来の乗客でもある子どもたちに「バス」という乗り物を身近に感じ、親しみを持っていただくことを目的にした体験プログラム「バスのしゃこにしてみよう！」を絵本にしました。

個性豊かな猫ちゃんたちと一緒にバスの車庫を見学しながら交通安全についても学びます。

2 みどころ

日常生活でよく耳にする擬音語（ぶつぶ～など）を使うことで、いろいろな音や様子を想像したり、信号機の色や合図の意味について、絵をとおして楽しく学ぶこともできます。

3 体裁及び部数

A4版12ページ 500部

4 お問い合わせ

管理部（担当：橋本・富田）

06-6429-2210

以上